

## 香川県デザイン協会の活動について

香川県デザイン協会

### ◇ はじめに

香川県デザイン協会は、デザインの重要性に対する社会的認識を高めることにより、優れたデザインが生み出される環境づくりに努めるとともに、産業界とデザイン関係者相互の連携を一層密にして、デザインの質的向上を図り、もって地域文化の向上と産業の発展に寄与することを目的として、平成10年に設立されました。

当協会では、デザインを通じて広く地域社会に貢献するために、以下の事業を中心に活動を行っています。

### ◇ 活動状況

#### 1. 普及啓発事業

##### 1) FUNFAN展

FUNFAN展は、平成18年に日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA）の全国大会を香川県で開催した時に、故福田繁雄氏が、香川の伝統的工芸品の丸亀うちわをキャンパスとしたデザイン展を発案したことに始まります。

作品は国内外の有名デザイナーや地元のクリエイター、学生らとコラボして制作、アジアを中心とした国々で、うちわ制作のワークショップや作品展示を行っています。また、平成23年のラオスでの展示会をきっかけに、JICAの事業採択を得て平成24年度からスタートした「香川らしい国際協カプロジェクト『ラオスうちわ産業振興支援プログラム』」は、現在、フェーズ2として事業を展開し



ています。平成27年は、日本とラオス外交樹立60周年に当たることから、ジャパンフェスティバル2015がラオス国内で開催されたのに合わせ、日本ラオス外交樹立60周年をテーマとするうちわ展示・配布やワークショップを実施しました【図1】。今年度も引き続き技術の習得や販路拡大等に関する支援を行っています。

また、今年10月には、パラグアイへの日本人移住80周年を記念して、現地でFUNFAN展の開催や、うちわデザインコンクールを実施しました【写真1】。

#### ●写真1



FUNFAN in PARAGUAY (2016年)

#### ●図1



##### 2) 学生表彰

若い世代に香川県デザイン協会を周知し、将来の会員を育てることを目的に、県内デザイン系高校3年生を対象に学生表彰制度を平成27年に制定し、表彰を行っています。